

東海北陸リーダー養成研修会 in 石川に参加して

池田リハビリテーション病院 飯田朱美

ミッション!!「県士会における中堅スタッフ（後継リーダー）育成の課題をあげよ」という事前課題を前に、我ら 5 名の精鋭たちは、顔を見合わせて頭を悩ますことから始まりました。副会長の桐山、広報部の塚田、総務部の松本、アクティビティー部の熊南、そして福祉用具支援事業委員会の飯田。内容がまとまらず直前まで LINE で検討、資料直しを繰り返しました。ここで 5 人の結束が固まり、研修への緊張とワクワクした高揚を感じたのは私だけではなかったはずです。

東海北陸リーダー研修会 in 石川は、11月30日（土）～12月1日（日）金沢市で開催され、東海北陸 7 県士会から計 35 名参加で行われました。

1 日目は、グループワークで臨床実習指導について。短時間内で効率よく実習を行うために。どのような社会人を目指すのか？現場の生き生きとした姿を見せているか？学生のみならず後輩育成のヒントを頂きました。特別講演は石川県士会顧問の今寺忠造氏による「リーダー育成について」。挨拶、先手は人を変える。報・連・相は能力以上の仕事、上司を使うツール。自分を変えて周りを巻き込むリーダーとしての心構えを再認識しました。今寺先生の OT LOVE を余韻にその後の懇親会では、各々が OT 論について熱く語り合う夜となりました。

2 日目は、事前課題を発表し、他県士会からのアドバイスを参考にロジックツリーを用いて対策を立てるという流れでした。ワークライフバランスの実現困難、子育て世代参加困難、マネジメントを学ぶ機会がない、士会の役割や意義の未周知など課題は各県共通にみられました。富山県士会では、親子参加できるサテライトスペースの設置、テレビ会議、LINE@や HP など SNS の有効活用、地区別での運営などが提案されました。OT 士会リーダー育成を！を合言葉に、この LINE グループの継続を約束した 5 人。これからは挑戦と思っています。貴重な機会を有難うございました。



作業は生きる力、
あなたの作業を応援します。

富山県士会の課題

- 物理的(距離)問題
 - 運営を地元単体で行う
 - TV会議
- ライフワークバランスの問題
 - 親スペース
 - サテライトスペースの開設
- 県士会活動内容が主に伝統的でない
 - SNSを用いた(最新情報) 紙less電子化
 - HPの有効利用
 - 白書の制作

県士会活動への
関心度の差が
ある